

# 彼方「かなた」

校長通信  
H24.11.13  
Vol.31

「みんな頑張ってるぞ！」



校庭の木々が色づいてきました！実りの秋です。学校でも沢山の実りが見え隠れしています。部活動や行事、学習等、様々な場面で生徒の取り組みが評価されています。いくつかご紹介します！

部活動では、一、二年生に主体が移行し、各種新人戦等が行われています。陸上、テニス、ソフトボール、卓球、柔道、剣道の各部では、葛南新人大会で好成績を納め、県新人大会にコマを進めました。6つの部活動が県大会に出場するのはなかなか難しいことです。詳しくは『湖北中通信』の第八号にも載せてありますので、一読ください。

三年生の生徒会総務の菅井さんと藤村さんが湖北中を代表して子ども議会に参加しました。菅井さんは議長を務め、スムーズに議事を進めることができました。星野市長さんや中村教育長さんへの質疑応答では、菅井さんが「いじめの具体的な施策について」、藤村さんが「若者が住みやすくなる魅力ある我孫子市づくりについて」思いを語りながら、質問することが



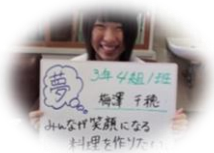
できました。最後のお礼の言葉では、菅井さんが議長として「普段は街づくりや我孫子市全体のことを考えることは全くありませんでしたが、子ども議会に携わったことで、多くの方々が真剣に考え、よりよい街づくりのために多くの施策が展開されているのがわかりました。中学校に戻ったら自分でもできることを考えよりよい学校づくりに努めていかなければならないと思いました。」という熱いメッセージを残して終わりました。

他にも、一年生の北田 侑さんが夏休み明けに出品した作品「転倒ます型雨量計の工夫を通じたゲリラ豪雨の研究」が、県の科学工夫作品展でも優秀賞を受賞し、全国大会に出品されることになりました！過去に例をのまない快挙かもしれません！また、3年生の鈴木康介さんが「税の作文」で柏税務所管内の最優秀賞を受賞しました。これもまたすごい！

さらに、朝食レシピコンクールでは、二年生の鈴木新菜さん、砥上瑛帆さん、田中瑛未さんの三人が特別賞を受賞しました。毎回コンクールのレシピを栄養教諭の野口先生がアレンジして提供してくださっています。今回のレシピもどんな給食のメニューになるか楽しみです。

外部で表彰されるわけではありませんが、まだまだ目に見えない努力をしている人が他にも沢山います。たとえば、三年五組のみんなは、3・11の東

日本大震災以降、当たり前のように食べられることに感謝し、クラスで毎日「残菜ゼロ運動」を続けています。それが他の学級にも広がっています！



学校にいるときは、三年生との会食を進めています。出張続きでなかなか進みませんが、その中でも頑張っている話が聞けます。「今まで全然勉強していなかったのに毎日四時間は最低でもやれるようになってきたよ！」「俺、一時間半ぐらいしかやってないから頑張ろうかな！」「私もまだ二時間ぐらいだから頑張る！」なんだかうれしくなる会話でした。会食の中では、今の自分の夢を書いてスナップ写真も撮らせてもらっています。「人のために生きる！」とか「みんな笑顔になる料理を作りたい！」や「打倒数学！」



「東大合格！」「プログラマーになる」など、今の思いを素直にボード書き、笑顔で話してくれます。受験という壁にきちんと向き合って、将来の夢に向かって頑張ろうとしている三年生はなかなか魅力的です！校内実力テストも回数を重ねるごとに少しずつですが平均点が上がってきています。頑張れ三年生！

いろいろ見渡せば山ほどの輝きが見えてきます！私たち大人は、子どもの輝きが見えなくならないように心のくもりをいつも拭き取っておかなければならないと思います！